

## 1-8 事後調査

### 1 事後調査の項目

事後調査の項目は、環境影響評価の項目を基本とする。ただし、環境影響評価の結果、環境影響がないか又は環境影響の程度が極めて小さいことが明らかである場合は、当該項目を削除するものとする。

### 2 事後調査の手法

事後調査の手法は、現況の調査手法に準じる。

### 3 事後調査の期間等

工事の実施に係る事後調査の時期は、工事の実施期間中とし、定期的を実施することを基本とする。

土地又は工作物の存在及び供用に係る事後調査の時期は、工事完了以降施設の稼働状態の変動を考慮して、定常状態に達したときに実施する。期間及び回数は、必要に応じて、1年～数年程度、定期的を実施する。

また、中間的な時期に予測を行った場合には、その時期も事後調査の対象とする。

### 4 事後調査結果の検討

事後調査の結果は、予測及び評価の結果と比較検討する。これらの結果が著しく異なる場合は、その原因を検討、究明する。

また、事後調査結果を検討した結果、大気質への影響が大きいと判断された場合は、新たな環境保全措置の検討を行う。